

議会だより

さまに

No. 26

様似町議会

2025.11.7



※ 様似町のホームページに「議会だより さまに」のカラー版を掲載しております。

～ 主 な 内 容 ～

◆令和7年9月定例会

10月臨時会

P 2～ 3

◆一般質問（5名・10件）

P 4～ 9

◆常任委員会報告

P 10～11

◆新任議員紹介・研修会

P 12



◀ 議会だよりHPコード

No.26 「幌満峡の秋」

なかなか行く機会が少ない幌満峡ですが、私たちに心に残る景色をプレゼントしてくれます。

自然豊かな様似、大切にしたいです。



☆動議とは？

会議の運営や手続きに関して議員が議会に対して行う提議の事

鈴木議員
本件は、工事終了後の補正予算案であり、民主主義のルールに沿っていないと思いますので修正動議の提出と致しました。

動議主旨説明

令和7年度様似町般会計補正予算に対する修正案は、歳出につきまして、負担金及び交付金において、市場施設整備補助金203万5000円を減額修正するものです。

討論

一般会計補正予算修正案

令和7年度様似町般会計補

修正案に反対

根城議員

これまでの事情は7月9日に要望書が出てから緊急を要するという事で予算が決まらないのに工事が先行した。これは本当にまずい事だと思いますが、市場は毎日水揚げがされており、その合間を縫ってお盆休みの8月2、3日間にやるしかなかったという実情。予算の計上が今回になったことは確かにまずい面もあったが、町長が反省の弁を述べており、減額の修正が果たして本当にこれで良いのかどうか、今後の漁業振興に対して悪影響を与えるのかどうか。手順は確かに悪かったかもしれないが、私は本当に緊急性があつた事だと思い、今後の漁業振興の為に是非必要だと思っています。

水野議員

緊急性がないという捉え方をしていることに疑問。第一次産業は様似町で大事で皆理解を深め、あるときは期間が短くても認めてきた経緯がある。町長が陳謝しますということ言っていて、それも許さないという事であれば、これから色々なものがルールでルール、何か起きたときに全部含めてきめ細かいルールを決めなきゃならないです。

佐々木議員

まず町長に対し選挙があるからばらまきじゃないかという意見はかなり失礼じゃないかと思います。今回補正予算を提出にあたり、町長は先ほど色々な手法があつたと思うが説明責任等の色々な理由を皆さんに説明したいとおっしゃっていました。それはそれなりに町長が判断して今回こういう提案の仕方をしたと思う、私は理解しています。

修正案に賛成

明賀議員

7月9日という選挙前であることに對してやはり不適切。お盆までに1ヶ月有り、その間に例えば議会や議長、事務局にこういう相談があつた等入れて頂いていれば議会は反対していなかったと思います。一次産業本当に大事です。だからこそ、決まりを守りましょう。今通してしまつたら、他の組合もどんどん出てくる。漁業振興に補助金をいれないとかいう話ではなくルールを踏まえた上での補助金には賛成です。

坂本議員

やはり私達はルールを守つた上でこの議会運営をされていると思います。ルールにのっとって議案提案をしていく、方法はいくらかあつた

小野議員

町民の皆様には質問をされた時に答弁できない様な事はしたくない。要望書が出て来たらからお盆までに期間が有りながら、議会に説明・報告なしで予算提案前に工事が終了していたということは、町長のお考えでは議決権まで町長に及んでいる事になります。規則で決められた事を適正にやらなければ議会のチェック機能の役割を果たせない。

砂子澤議員

補助金を出すことに反対している訳ではなく、一次産業は本当に大切で、必要なことには大いに出すべきだと思っています。ただ今回の件については順番が違う。ここで良しとしてしまつたら何のための議会なのか。ルールをきちんと守つてほしいと思っています。



専決処分案件 主なもの

- ☆選挙費 150万6千円
- ☆環境衛生費 1200万円
(西様似配水ポンプユニット更新)
- ☆教育費 204万2千円
(幼児センター屋根改修工事)
- 107万5千円

減額補正予算を可決

日高中央漁協様似支所の施設修繕補助金203万5千円について、減額する修正案を賛成多数で可決しました。

経緯として、経年劣化で剥がれた床のコーティング工事補助を町は同漁協から7月に求められ、8月に工事が行われました。

工事が完了後の予算提案であつた事や、議会への説明がなく工事が完了している事等を理由議会から減額修正案を提出、賛成多数で可決されました。 詳細は3ページに掲載

9月定例会



10月臨時会

功 労 表 彰 (諮 問 案 第 1 号)
附 田 一 穂 氏 に 同 意

他 の 案 件
介 護 保 険 特 別 会 計
補 正 予 算 (第 2 号)

専 決 処 分 案 件
令 和 7 年 9 月 2 1 日 発 生 災 害 復 旧 費
800万8千円

一 般 会 計 補 正 予 算 (第 6 号)
366万9千円を追加
主 な も の
ク リ ー ン セ ン タ ー 監 視 カ メ ラ 修 繕 費
200万8千円

専決処分って？

議会が議決すべき重要な案件について首長が議決に代わって意思決定を行なう事

条 例 改 正

☆議員・町長選挙でポスター公費負担を1枚2440円から2650円に

☆地方公務員の休業についての改正

☆育児休業の拡充

☆非常勤職員の対象年齢を小学校就学前までに

☆超過勤務免除対象範囲を小学校就学前までに

人事案件

様似町教育委員会委員

池田博英氏を選任

郵便局で出来ます！

マイナンバーカード
電子証明書の発行：更新

町内高齢者、障がい者、車

概数として千人前後の方が避難され、備蓄食料、水を配布し、各地区に職員を派遣しました。スポーツ公園では避難車両を誘導し、夜間避難されていた100名の方には食料配布も行いました。園児らはバスで、公民館に来ていた児童は、公用車で田代研修センターに避難し、ひまわりクラブの児童は徒歩で高台に避難しました。

様子町が把握している避難者数、各地区での対応をお聞きます。

令和7年7月30日の津波警
報発令後の総括について

質問①

令和7年7月30日の津波警



明賀孝子議員

両避難についてはどうですか。

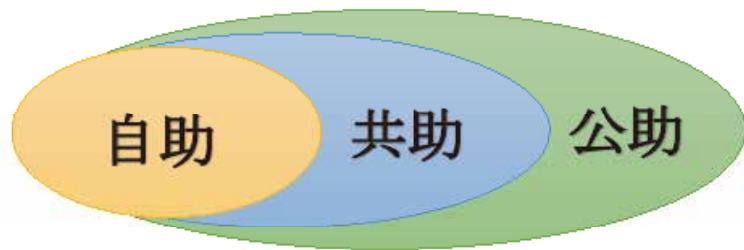
（ ） デイサービス利用者は車両にてソビラ荘へ避難しました。保健福祉課では、緊急時に配慮が必要な方17名の方に巡回や電話対応を行い、役場に避難要請のあった方は支援を行いました。6月の自治会長会議では、初めて避難行動要支援者名簿を配布いたしました。

指定した避難場所での運営方法、避難訓練への町民の方々の積極的な参加、避難者を受け入れる側の地区の対応等自治会と連携していろいろな可能性を探っていききたい。

今回は夏場炎天下というこ
ともあり、日陰のない避難場
所等今後の課題についてお聞
きします。

建物のない避難場所では備蓄庫にテント等配備していますが、装備品は厳寒対策に重きを置いていたので、今後熱中症対策用品も考慮したい。

質問②
4町合同製作映画中止に
ついて



問

構想2016年～2025
年7月まで4町での委員会の
回数、議事録等の有無文書契
約有無をお聞きしたい。

を立ち上げました。

令和3年4月にはアドバイザリーに関する覚書をA社と締結。途中コロナ等で延期を余儀なくされましたが、今年7月15日の打合せの場に出資から協賛への変更を申出た所、相手方から協賛であるなら、映画製作が止まるしかないと言われ、映画製作中止となりました。

問

3億2千万円以上の資金が集まったと記事に記載されていたが、様似町はこの企画にいくら支払い（ふるさと納税も含む）、最終的に還付金があるのか。あるのなら、概算で良いので教えてください。

4町の支出額は9032万円、残金は約2億4千万円です。

様似町が負担した金額は令和6年度までで約1353万円です。最終的な残金は確定していない状況でありますので、還付金に関しては返答できません。

答

これまでの4町での委員会の回数は15回で議事録に関しては一部を除いて事務局（えりも町）で保管しています。

契約書に関しては、令和3年アドバイザリーの覚書、監督会社とは、令和3から6年に3つ結び、さらに脚本第一項に係る契約があります。

問

一旦白紙となりましたが、映画製作などについては、引き続き4町で協議、検討してまいります。

令和6年度決算審査

9月11～12日に開かれた、令和6年度分会計の決算審査特別委員会にて、審査の結果、一般会計・介護保険特別会計・国民健康保険事業特別会計・後期高齢者医療特別会計・水道事業会計・下水道事業会計が原案の通り認定されました。

(相内監査委員より、報告・補足) 抜粋

いて納めたてしたえいめましとをめ
にたり感努にたいか平に
回とつ公少の体し不減
額全、ての納、らし額
未がか対納、たとに未
はしこ々、てます方か
いきまのほおだり民る
にたあ町図にたいでるを
各て額い制、せ金て抑す
てさるいのま
いをなだ納し
つ解とた滞致
に理超いなを
額変円てた待
済大万し新期
未は千を、う
入と6税うよ
収こ、納よく
るは付いだ

[illegible]

各 会 計 決 算 額 総 括 表	
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22
23	23
24	24
25	25
26	26
27	27
28	28
29	29
30	30
31	31
32	32
33	33
34	34
35	35
36	36
37	37
38	38
39	39
40	40
41	41
42	42
43	43
44	44
45	45
46	46
47	47
48	48
49	49
50	50
51	51
52	52
53	53
54	54
55	55
56	56
57	57
58	58
59	59
60	60
61	61
62	62
63	63
64	64
65	65
66	66
67	67
68	68
69	69
70	70
71	71
72	72
73	73
74	74
75	75
76	76
77	77
78	78
79	79
80	80
81	81
82	82
83	83
84	84
85	85
86	86
87	87
88	88
89	89
90	90
91	91
92	92
93	93
94	94
95	95
96	96
97	97
98	98
99	99
100	100

会 計 名	歳 入	歳 出	形式収支
一般会計	60 億 2064 万 8876 円	59 億 5809 万 8386 円	6255 万 493 円
介護保険 特別会計	4 億 5315 万 9857 円	4 億 5298 万 2349 円	17 万 7508 円
国民健康保険事業 特別会計	5 億 5222 万 1263 円	5 億 3534 万 436 円	1688 万 826 円
後期高齢者医療 特別会計	9752 万 9686 円	9752 万 9686 円	0 円
水道事業会計 収益の収支	1 億 7664 万 1435 円	1 億 6428 万 6065 円	1235 万 5370 円
下水道事業会計 収益の収支	2 億 7486 万 7692 円	2 億 6812 万 280 円	674 万 7412 円

砂子澤 富美子議員



質問①

災害時の避難方法・情報伝達について

問 7月30日カムチャツカ半島地震の影響で当町にも津波警報が発令されました。その経験から、その後の検証についてお伺いします。

答 8月18日に災害対策本部メンバーを参集し振り返り会議を行いました。主に暑さ対策、職員の初動体制の整理、民間指定避難所における避難運営方法が課題として挙げられました。

問 町民への伝達方法についてはどうですか。

答 防災無線、広報車両登録制メール、LINEホームページ、アラートを通じたテレビ・ラジオ、各種防災アプリへの情報伝達を行いました。

問 町民からのご意見について

答 特に暑さ対策の要望を頂き、扇風機を運び入れる等の対応を行った他、備蓄品の整備を進めていきたいと考えています。

問 新聞記事では様似町の避難所数が群を抜いて多く、地形等もあると思いますが、職員さんの負担等考慮し適切だったのでしょうか。

答 24カ所に967人が避難しほとんどの職員を派遣し避難状況の把握と避難者対応を行いました。様似町は地形的なハンデはありますが、想像するに一時避難場所と指定避難場所の捉え方の差であると考えます。

問 自力避難が困難な町民への対応、要支援者名簿はどのように生かされたのか等についてお伺いします。

答 要支援者名簿を配布した直後の事態であったことから自治会においてこの名簿を受けて特別な対策を行ったとは聞いていないが、共助の実効性をいかに作っていくかが重要で自治会と地道な協議を進めて

いきたい。

問 車での避難や暑さ・寒さに対して等、今後の課題への取組方法・時期について

答 車輛避難については北海道立総合研究機構と連携して車輛避難シュミレーション作成を進めています。今年度から9年度までの3カ年の取組、円滑な車輛避難の為のルール作りを検討していきたい。

問 寒さ対策は現在の対策を継続、暑さに対しては今後、熱中症対策用品を検討していきたい。

質問②

手話施策推進法について

問 令和7年6月18日に「手話施策推進法」が全会一致で成立、7月25日に交付されました。日本で手話に関する法制

答 定は初めてですが、今後は手話を広げる為の環境整備は国や自治体の責務となります。現在まで様似町として取組があれば教えて下さい。

答 聴覚障害者など意思疎通支援事業について要綱を定めており、手話通訳者の派遣委託

質問③

「自治会要望事項回答書」について

問 聞き取りから施行までの流れを教えてください。

答 毎年自治会より要望を提出して頂き、6月頃「自治会要望回答書」を自治会長へ配布し自治会長会議にて報告。その後、担当課長中心に内容に

問 要望によっては毎年の様に「検討事項」となっている物があります。ケース毎で異なると思いますが、検討事項となった物についてその後の様に検討されているのか、頻度や構成含めて伺います。

答 今年度から継続要望のうち、実施済みの物、対応が難しいケースを各自治会長へ理由を説明、その上で継続要望とするか再確認した所、要望の取り下げや、より具体的な要望内容の整理に繋がった事例もありました。自治会要望は町民の声、今後も真摯に対応させて頂きたい。

問 今年度から継続要望のうち、実施済みの物、対応が難しいケースを各自治会長へ理由を説明、その上で継続要望とするか再確認した所、要望の取り下げや、より具体的な要望内容の整理に繋がった事例もありました。自治会要望は町民の声、今後も真摯に対応させて頂きたい。



※参考資料：新得町の手話の本です

鈴木 隆議員



質問①

7月30日の津波警報発令後の総括について

問 ①町内の避難所等への避難された方々の人数は何人ですか。

答 集計としては967人、概数としては1,000人前後が避難されたと捉えています。

問 要支援者が97人いるのとことでしたがその方々の避難状況については認識されていますか。

答 把握しておりません。要支援者の方が暮らしている周りの方々のお考えや、自治会の方々とやり取りする中で方法を見つけていけるよう努力していきたい。

問 ②町民が避難する方法として自動車、徒歩などが考えられますが、町として避難方法を

把握していますか。

答 車両、徒歩のいずれかで避難されたのかを数量としては把握していませんが、避難車両の台数から、かなりの割合の方が車で避難されたものとして認識しています。

問 ③避難所でのトイレ対策（簡易トイレの設置等）はどうなっていますか。

答 建物内のトイレは通常通り使用できました。備蓄庫に備えてあった携帯トイレとテントの使用は見られませんでした。各避難所及び避難場所に簡易トイレ用品の備蓄を進めているところです。

問 ④避難時間が長時間にわたっていましたが備蓄倉庫からの食糧品等の使用はありましたか。あったとしたら量的には不足するようなことがありましたか。

答 各備蓄庫には7550食配備されており、今回の使用は1131食でしたので量的には足りていましたが、避難者からは米飯クッキーでは食べにくいとの指摘もありましたので今後検討していく必要が

あると思っています。

問 ⑤町民から、避難情報が伝わらないとの不安の声が聞こえてきているが、町としてその認識はありましたか。

答 防災無線については、更新の時期もありますので、その際にはより聞き取りやすい設備や個別無線機の設置といったことも検討し、いま登録制メールやLINEといったモバイル通信の普及にもさらに努めていきたい。

質問②

小中学校のトイレ状況について

問 ①校内に備わっているトイレの洋式、和式の設置数は。

答 ②男女別トイレ多目的トイレの設置数は。

答 小学校については温水式トイレが44基あり、1～3年生教室、保健室職員室がある校舎1階は全部で23基あり、多目的トイレは1基、男子用が8基、女子用が14基あります。4～6年生がいる2階には全部で10基あるうち、男子用が3基、女子用が7基あります。

業務の契約を引き続き実施、要望があった場合や必要と判断した場合に手話通訳者の派遣を依頼する事になります。

問 今後、どのような取組を予定されているか教えて下さい。

答 この法律が成立した事で今年度の予定はないが、手話に関する研修会の情報等について積極的に庁内に広報する等に取り組んでいきたい。

問 聴覚障害者の情報アクセシビリティについて現状踏まえ今後の取組を教えてください。

答 資料での説明、筆談、大きな声や身振りで伝える等の継続、又町HPや登録制メール、SNSでの情報提供も効果があると思います。日高振興局や日高管内各町とも情報交換し、検討して参ります。

問 要望によつては毎年の様に「検討事項」となっている物があります。ケース毎で異なると思いますが、検討事項となった物についてその後の様に検討されているのか、頻度や構成含めて伺います。

答 今年度から継続要望のうち、実施済みの物、対応が難しいケースを各自治会長へ理由を説明、その上で継続要望とするか再確認した所、要望の取り下げや、より具体的な要望内容の整理に繋がった事例もありました。自治会要望は町民の声、今後も真摯に対応させて頂きたい。

グラウンドにも多目的トイレが1基、男子用が1基、女子用が3基あります。次に中学校ですが、洋式は洗浄便器付きで29基あり、和式は体育館にある男子用1基、女子用は2基となっています。

問 ③先般、えりも高校の生徒とえりも町会議員の懇談で女生徒9名からの訴えとして洋式トイレの不足で休み時間が満足にできないとの報道がありました。様似町ではどういう状況にありますか。

答 和式便器は少数残っていますが、小中学校ともに普段活動する校舎には全面的に洋式となっており、数についても充足している状況です。問題は無いと考えております。

質問③

福祉灯油制度について

問 ①今年度も物価高騰が続いています。低所得者への生活支援を全町民への支給にしてはどうか。

答 全町民への支給とした場合は「低所得者への支援」という目的・意味合いが薄れてし

まうこととなります。又国による「物価高騰対応重点地方創生臨時交付金」について、今年度は昨年度より交付される額が小さかったことから、庁舎内で協議し、全町民を対象にした「アポイクーポン券」の発行とはせず、町で行う「福祉灯油」の財源にしたところ

問 ②福祉灯油は生活保護世帯は除くとありますが、除かれる世帯数は何世帯ですか。

答 対象として除かれる世帯は約30世帯となります。生活保護費として、冬期間に追加支給される「冬期加算」があるため、当町の、福祉灯油の対象者からは除いてます

問 ③福祉灯油ですが、予算の執行残があります。その原因は何ですか。

答 課税非課税の要件が、本人の同意なく確認ができないため、予算不足とならないよう余裕を含んで概算要求をしているため、結果として予算の残額が出ています。

佐々木敏議員



質問①

移住体験住宅について

令和6年度の利用実績について

本町では、平成28年から人口減少対策の一環として移住定住、交流人口の増加による地域の活性化を図ることを目的に2棟3戸を整備して事業を実施しています

6年度は、延べ利用人数34名、滞在日数407日で2棟4名はリピーターでした。年代別では、20代から80代と幅広く、特に70、80代の夫婦が多い傾向にあります。

令和7年、8年の利用状況について

例年6月から9月までの夏季期間に利用希望が集中し、本年も7月、8月とも全3戸が予約で埋まり、6か月以上

の長期滞在が1組1名、イチゴ農家へのインターンシップで2組3名の計3組4名の利用がありました。

利用料金、利用条件について

料金については、近隣町の状況を勘案して、光熱費込み1名日額1,800円、冬期間は2,100円です。長期の移住体験者には、光熱水費燃料費込みで月額4万円としています。

インターンシップ利用については令和6年度から据え置きとしています。

令和6年度までは一律7日以上90日未満の移住体験として募集していましたが、今年度から、6か月以上の長期滞在に1戸、町内事業者でのインターンシップ希望者に2戸の募集をしています。

利用者の居住地（管内、道内、道外）について

利用者の居住地については、令和6年度18組のうち道外が17組、管内以外の道内が1組でした。

平均利用日数について

令和4年度21日、令和5年度31日、令和6年度24日、平均26日となっています。

利用者の移住実績について

平成28年度の制度導入以降、令和6年度までに、89組148名に利用していただきましたが、4組7名が完全移住しています。1組はご主人が類似町出身のご夫婦、3組がJRバスの運転手として採用になり移住しています。

今後の課題について

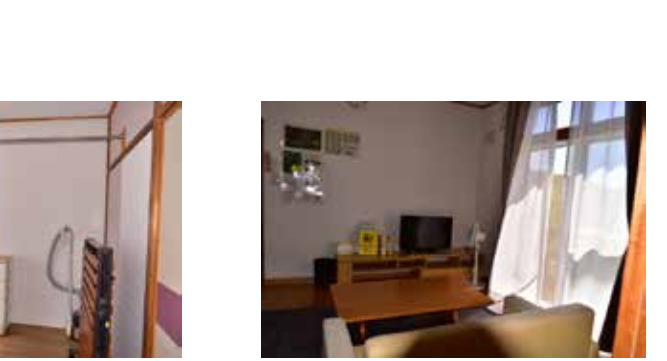
移住体験は7月から9月にかけての夏季期間が多く、リピーターや、町民との交流を求める方も増え関係人口施策としては一定の成果が出ていると感じています。

しかし、移住につながったケースは少なく移住促進施策としては思うように成果をあげられていないのが実情です。

要因として、冬の北海道の暮らしに自信が持てないとの理由から断念するケースが目立っています。このことから長期利用を促し、冬季間の生活体験等夏季期間限定からス



トップアップを目指し、庁内人材確保、一次産業はじめ各事業者呼びかけ、インターンシップとして若い世代に来てもらう事にシフトを変更し、成果を上げていきたいと考えています。



坂本好則議員

質問①

一期4年間の総括について

町長、4年間ですね、色々な事があったと思います。給食問題、過去に町長と夜遅くまで時間をかけて、給食センターがいいのか、スクールランチがいいのかという事を夜8時位まで議論したことを覚えております。また、人口減少が中々止まりません。高齢化は、この4年間かなりに進んでおります。一次産業にとっては、後継ぎがいらないという事で、随分廃業された方もいらっしゃると思います。その方々を見ていながら、どういうふうに感じていたのか。副業を許可した方々が、その副業に対してどういうふうに思っておられるのか。老人福祉に対しては、デマンド交

通、福祉タクシーなど、老人福祉に対して、いろいろと力を注がれました。町長には、まだまだ公約上、積み残した課題があると思っております。観光面についてもお聞きしたいと思います。日高山脈襟裳十勝国立公園に指定されてから1年、交流人口のことですが、各町と比べて様似町は、小さな数字でした。なぜそれ程増えなかったのか。それも教えてください。アポイ岳ジオパークについてお伺い致します。平成20年頃からのジオパーク関連の費用はどのくらいかかっていると思えますか。私は大体掘んでいるところで5億円あまりの金額が6億円位になっているのではないかと思います。この間、どれだけの人、どれだけのお金がかかっていっているのか。教えて頂きたい。それから、ジオパークで町内観光を活性化しようとする、観光化だけじゃない、子供の教育だとか、いろんなものも加味した中でこのジオパーク進めてまいりました。いつになっ

たら観光客が増えるのだろうか。と期待しておりましたが、全くだんだん衰退していく一方です。町民がどれ位関心を持っているか。過去から色々と言われておりますが、何%ぐらいの方がこのジオパークに対して、関心を持っておられるのか。教えてください。このジオパークに対して、アンケートを取って今後の進め方を検討できないのかどうか、その辺もちょっと教えてください。最後ですが、北の流水、頓挫してしまっただけで、町長は数字を言わなかったのですけども、もう9千万円位が使われてしまっている。これ町費を充てているわけですよね。返してもらえないのだろうか。返してもらえないとしたならどうするのか。その責任の取り方を教えてほしい。以上よろしくお願い致します

【荒木町長】一次産業全体としては、自然環境の辺境変動要因を受けやすい生産への影響が大きく表れております。4年前に発生した太平洋沿岸での赤潮の

大発生による水産物に及ぼした被害は甚大であり、その回復がまだ図られていない状況で、働き手の確保に苦慮している状況にあります。また、人口減少の歯止めは厳しいかもしれませんが、そのスピードを鈍らせる取組を模索しながら歩み続けたいと思っております。給食にも取り組んでまいりました。様子型スクールランチについては、児童生徒のアレルギー対応と利用率の向上が見られたことから無償化を実施致しました。

日高山脈襟裳十勝国立公園は、我が町を見守る聖なる山であるアポイ岳と、その山を構成するカンラン岩体は、世界に誇るジオパークであり私たちの財産であります。この財産を守るだけでなく、これを生かし、町が賑わい、そして潤う取組へと段階的に取り組んでまいりたいと思っております。

ジオパークの関係に対しては、総合計画の中間年ということで町民千人の抽出でのアンケートをやりました。また、人口減少の町でも気概を持つて生活していける町づくりをしたい。ジオパーク関係費は、平成6年から16年間で合わせまして3億9千6百万円になり年間にしみますと約2千5百万円を支出しているということになります。

北の流水（仮称）ですが、こういう状況になったことは本当に申し訳ないという思いでおります。これは一町長として参加している身でありますからそれについては責任を感じておりますし説明責任についてもしっかりとさせて頂きます。

私は、推進委員会のえりも町と連携を取りながら、しっかりとやっていったつもりです。ただ、その中で、9千万円の内容については、制作委員会のほうで監督がやったものに対して現在出しているという金額だと思います。町としては、担当の方から説明させていただきます。北の流水の関係は、十分に心に留めさせていただきます。

総務・産業常任委員会 8/22

※令和7年8月22日に開催された事務調査案件は、総務課3件、産業課1件、企画調整課1件、商工観光課1件でした。

◆総務課

総務課1件目は、様似町議会議員及び様似町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について説明がありました。委員からは質疑はありませんでした。

2件目は育児や介護の環境整備の諸条例の一部改正について説明がありました。委員からは、夫婦でとれるのか男性職員の取得率、周知等取得対策、町外でも適応になるのか、証明書の提出について町民に対しての方策や改正の大きな目的、周知には様似町の産業構造を考えて欲しい、家族介護の手当、期間等の質疑がありました。

3件目は、令和6年度様似町の健全化判断比率等について説明がありました。委員からは、10年後の況把握、広域連携の必要性、基準財政需要額人口一人の単価、将来負担比率の意味等の質疑がありました。

	健全化判断比率	早期安全化基準
実質赤字比率	—	15.00
連結実質赤字比率	—	20.00
実質公債費率	10.9	25.0
将来負担比率	28.3	350.0

	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
下水道事業会計	—	20.0

※「—」は赤字を生じていないため該当なし

産業課1件は、産業課所管の農業、林業、水産関係の補正予算について説明がありました。委員からは、アライグマ1頭の処分費用、頭数、わなの種類、専門家の講演開催日高中央漁協様似支所荷捌き施設の床面修繕について、工



事補助費の割合、補助基準、過去の例、今後も同様な対応をするのか、水産業のみの対応なのかを慎重に協議すべき施行年数、広さ、国・道の補助の有無、衛生管理等について、町内における米の自給率町営牧野の利用内容、投葉費用管理人、牧野の3町共同利用町外の利用状況、投葉の見込み数、放牧頭数の上限及びビニールハウスの所有者等について質疑がありました。

◆企画調整課
企画調整課1件は、さまに乗合ワゴンの運行状況等について説明がありました。委員からは、シルバー券の利用状況、地区の利用状況による配置の入れ替え、分かりやすくするためのチラシの有効活用、融通性、土日祭日の未実施、乗合割合、交通弱者のため乗降場所をもつと融通をきかせたり、シルバー券をJRバスでも利用しては等質疑がありました。



◆商工観光課
商工観光課1件目は、アポイ岳調査研究支援センターについてで、有効活用を目的としてプロポーザル実施について説明がありました。委員からは、賃貸料の適正、壊すと思っていたのでプロポーザルに賛成、公募しても、1〜2年待ったら腐食してしまうのでプロポーザルするなら直ぐにすべき、取り壊すべき、プロポーザルも定期的にやめるべき、郷土資料館にしては等質疑がありました。



社会・文教常任委員会

8/20

令和7年8月20日に委員会室で社会文教常任委員会が開かれました。

●税務町民課

様似町の特定の事務を扱う郵便局の指定について

担当課より様似町の特定の事務（11月から予定しているマイナンバーカードの電子証明書関連事務）を取り扱わせる郵便局を指定することについて議会の議決が必要ことから上程させていただくものですとの説明がありました。委員からは、従来通り役場の方でも手続きはできるのかとの質問があり、役場でも郵便局でもどちらでもできますとの答弁でした。

●保健福祉課

令和7年度の福祉灯油について

冬期は採暖の為生活費が増えるが、低所得者であればそ

の家計への影響が謙虚なものとなるため、採暖に必要な灯油購入費を一部助成し、高齢者、障害者等の生活の安定を図るもの対象世帯としては在宅で生活している町民税非課税世帯であり、世帯全員が65歳以上、重度の障害者が世帯員にいる、ひとり親世帯、のうちいずれかであること（施設入所者・長期入院者・生活保護世帯者は除く）支給額は1世帯当たり2万円分の灯油券、申請方式は窓口で申請し、その場で審査して灯油券を交付する。

財源として物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（補助率100%）但し、交付限度額45万890円（従来地域づくり交付金50万円）となっています。委員からは、全体としていくらになるのかとの質問があり、1世帯2万円として総額800万円を見込んでいるとの答弁でした。

又、委員からは、オール電化住宅の電気料金については何か考えているのかとの質問があり、これから、町内の現状を把握して検討していきたいとの答弁でした。

生活保護世帯を除くところがあるがそれはいかがなものかの質問に対しては、冬期加算があるから除外しているとの答弁でした。

新型コロナウイルスワクチンによる予防接種健康被害について

様似町では、今まで2件の健康被害が発生している。1件目については令和6年8月の本委員会で報告した通りです。残りの1件については資料の通り、被害にあわれた方に全額公費で支払いをしています。

委員からは、適切なワクチンに対する体の反応を調べることはできないかとの質問があり、今のところ、医者の問診でしか出来ませんとの答弁でした。

●教育委員会
令和7年度全国学力・学習

状況調査の結果について

学校に行くのが楽しくないとのアンケート結果ですがこれについてどう考えているのかとの質問があり、子供たちが楽しく過ごせるような状況にしていかなければならないとの答弁でした。

※ 外国語指導助手の着任について

氏名 マキルニー・キバ
出身 マサチューセッツ州
配属 様似中学校
期間 令和8年7月27日
令和7年7月25日に着任されているとの報告です。

※ 中体連日高大会・全道大会の結果報告について

※ 令和7年度教育委員会点検・評価報告書について

※ 様似町文化・スポーツ大会出場助成金交付要綱について

要綱の中で4条の対象経費の中で、その他必要と認められる経費とあるが、細かく定義した方がいいのではとの質



問に対して、実際に行かれた方々に状況を聞きながら、今後の運営なり、要綱の定め方というものを考えていきたい。

以上、社会文教委員会からの報告といたします。

令和7年8月19日、札幌コンベンションセンターにて開催されました。参加議員は、佐々木議員、明賀議員、砂子澤議員、議会事務局職員の4名でした。

内容は、一般社団法人自治体広報広聴研究所代表理事の金井茂樹氏による「伝わる議会広報のポイント」でした。

読みやすく、理解される議会広報の在り方や『伝える』と『伝わる』の違い、難しいから理解してもらえない議会広報へ。レイアウトや見出し、リード文等他市町村の議会広報を例に挙げての講演でした。私達議会広報委員もより分かりやすい議会だよりを目指してまいります。



議員紹介



社会文教常任委員会

委員長 鈴木 隆
副委員長 根城 悌司
委員 水野 洋一
委員 佐々木 敏
委員 砂子澤 富美子
委員 早坂 拓三

議会広報常任委員会

委員長 水野 洋一
副委員長 佐々木 敏
委員 鈴木 隆
委員 明賀 孝子
委員 砂子澤 富美子

議会運営委員会

委員長 坂本 好則
副委員長 佐々木 敏
委員 水野 洋一
委員 根城 悌司
委員 鈴木 隆

総務産業常任委員会

委員長 佐々木 敏
副委員長 坂本 好則
委員 小野 哲弘
委員 水野 洋一
委員 鈴木 隆
委員 明賀 孝子

議会を 傍聴しませんか？

議会は、どなたでも傍聴でき、今後の町の方向性を聞くことができる良い機会です。定例会や臨時会の傍聴は事前の連絡は必要ありません。町民の皆さん、お待ちしております。

次回 定例会の 予定は。。。

12月15日（月）～17日（水）

時間 午前9時30分から
場所 役場3階議場

☆お問い合わせ先☆
Tel 0146・36・2141
(議会事務局)

編集後記

様似町に来てから、早くも半世紀近くになります。やはり自然も豊かで、人々の触れ合いも豊かでよそから来た私にも暖かく接していただきました。一步、街から出ると今、全国的にクマ出没警報でにぎわっていますが、私はそれが当たり前のこととして、さすが北海道、様似の自然の壮大さかなと感じてきました。春先の山菜の宝庫さ、秋には山葡萄、栗、キノコと。海の魚もたくさん揚げられます。今は街中、下水道もいち早く完備され、ますます住みやすい様似町になっていければと思っています。

(鈴木)

議会広報常任委員会

委員長 水野 洋一
副委員長 佐々木 敏
委員 鈴木 隆
委員 明賀 孝子
委員 砂子澤 富美子